

“シャキッ”と新聞

今月の“シャキッ”とする週間

2/27(月)～3/3(金)



心地よい春風を感じる季節となりました。本年度も残りわずかとなり、卒業式のシーズンを迎えます。子どもたちは進学や進級など、次のステップに向けて期待に胸を膨らませながらも、環境が変わるといふ事に不安を抱える時期でもあります。子どもたちが安心して一歩前へ進めるように、温かく見守っていきたいですね。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子さまの九年間の義務教育修了おめでとうございませう。これまで西中学校のPTA活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。これからは西中PTAのOBとしてご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

●●● 早速ですが ●●●

お子さまのご卒業後、いらなくなった制服や体操服等がありましたら、リサイクル活動にご協力よろしくお願ひいたします。

輝く思い出のために子どもたちを応援する一週間



～エールを送るあいさつ週間～

2/27(月)～3/3(金)

いつもは第三週目の月曜日から行っているシャキッと週間ですが、今月は西中学校を巣立っていく3年生にエールを送るといふことで、卒業式を前にした2/27(月)より一週間、朝の登校時間に合わせてあいさつ運動を行いました。

執行部・委員の皆さん・生活委員の生徒さんに加え、3年生の保護者の皆さんと先生方とでにぎやかなあいさつ運動となりました。





会長のひとりごと



～ 上を向いて歩こう ～

日ごと春に近づいている今日この頃。寒い日の中にも春を感じさせる場面を目の当たりにする機会が増えてきました。平成29年3月。今年も夢に向かって旅立つ季節……。先日、ある歌手グループが歌う曲を耳にしました。「かりゆし58」。ご存知の方もいらっしゃると思います、沖縄県出身の4人組ロックバンド。「かりゆし」とは「縁起がいい」とか「めでたい」という意味があるそうです。そんなグループが歌う曲「嗚呼、人生が二度あれば」。この曲にはこんな歌詞があります。

♪♪～嗚呼、人生が二度あれば、もしもこの人生が二度あれば、次はどんな生き方をするだろう 嗚呼、時を戻せるなら、もう一度あの日に戻れたなら、今度はどっちの道を選ぶだろう～♪♪ この曲全体の思いは、昔抱いた夢を今の自分は叶えているのか、追いつけているのかを自身に問うている曲（私見です）だと思います。ただ、私は前述のフレーズ部分だけを聞いて感じたのは、ひょっとしてこの曲の主人公は、今の自分の人生に後悔しているのかな、ある時点の分岐点・ターニングポイントでの選択に悩んだのかなと感じました。作詞者の真意は如何に……。もし機会があれば皆さんもこの曲を一度聴いてみてください。ちなみに、私の人生のターニングポイントの一つ。五年前にPTA会長を引き受けた時の事。私に人生が二度あれば、もう一度同じ場面が訪れたならば……。私はもう一度PTA会長を引き受けていたと思います。

西中学校の3年生は、まもなく一つの扉を開けることとなります。ただ、この扉は分岐点・ターニングポイントではないはずです。3年生にとっては、人生のまだ一つの通過点でしかありません。悩むこともあるかもしれませんが、それでも下をうつむくことなく上を向いて頑張りたいと思います。「上を向く」という言葉を聞くと思出すことがあります。それは、私が学生時代から心がけていたこと。何かの本で読んだのか、誰かの話を聞いたから心がけていたのか定かではありませんが、それは“悩み方”ということなのです。その悩み方とはこうです。

「悩むときには空を見上げて悩むこと。見上げた空は世界中の街とつながっている。世界中の仲間が同じ空を見て悩んでいるかもしれない。そんな空を見上げていれば自分の悩みなんて小さなことのように感じるはずだよ。」

悩みとは、大部分は人が作り出したもの。人それぞれかもしれませんが、人が作り出した悩みは、何事も解決できるはずですよ。どうか悩むときには空を見上げてみてください。少しは悩みも軽くなるかもしれませんよ。日本人で唯一、全米ビルボードランキング第1位を取った、今は亡き坂本九さんの代表作「上を向いて歩こう」（海外では「SUKIYAKI」ソングとして有名）。その歌詞には……

♪♪～上を向いて歩こう、にじんだ星をかぞえて、思い出す夏の日、一人ぼっちの夜 幸せは雲の上に、幸せは空の上に上を向いて歩こう、涙がこぼれないように、泣きながら歩く、一人ぼっちの夜～♪♪

雲の上、空の上には幸せが、空を見上げていれば幸せが舞い降りてくるかもしれませんね。どんな時も、上を向いて歩きましょう！……。あっ、道を歩く時はちゃんと前を向いて歩いてくださいね。怪我でもしたら大変ですから！（笑）

さあ、平成24年度から毎月、シャキッと新聞でお届けしてまいりました“会長のひとりごと”シリーズも、とうとう来月号で最終回となりました。五年前、私がPTA会長になってから連載してきた“ひとりごと”。子どもたちへのエールであったり、先生方を応援する気持ち、時には大人たちへの問いかけであったり、いろんな内容を取りとめもなく書いてきました。思い返せば、50回を超える連載、自分自身でもよく書いたものだと思います。中には手を抜いた（そんな気持ちは少しもないんですが……）ように感じる月もあったかもしれません。そんなシャキッと新聞のバックナンバーは、西中学校のホームページにアップされていますので、興味がある方はぜひご覧ください。何はともあれ、長い間お付き合いいただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。

最後に、恒例の応援の言葉を……。西中学校の子どもたちは、伊丹市内で一番の中学生だと思っています。西中の子どもたちは、地域の“宝”です。そして、中でもこの春、西中学校を卒業していく3年生。君たちは間違いなく“西中生”になりました！地域の方々を含め、みんなが3年生のことを応援していましたし、これからもそれは続きます。胸を張り堂々と自信をもって前へ一歩踏み出し、そして勇気をもって羽ばたいてもらいたいと思います。みんなが応援しているぞ！そんなみんなの応援を背中に前へ進め！西中3年生！

では、次回“会長のひとりごと”最終回をお楽しみに。

（高橋敦志）

来月の“シャキッと”とする週間は4/17（月）～4/21（金）です。

新1年生を迎えて最初のシャキッと週間です。朝のあいさつ運動は8：10頃から正門付近で行っています。ぜひ皆様ご参加ください！